

2015-2016 ガバナー月信

# GOVERNOR'S Monthly Letter 1



国際ロータリー第2510地区 2015-2016年度ガバナー 嵯峨義輝

〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル7F TEL (011) 207-2510 FAX (011) 207-2512  
e-mail: rid2510@nifty.com <http://rid2510.org>



2015-2016年度 国際ロータリーのテーマ

# 「世界へのプレゼントになろう」

Be a gift to the world



## 国際ロータリー第2510地区 2015-2016年度 地区目標

### 1. 会員増強と維持率向上の推進

会員数5%純増

### 2. オンラインツールの利活用の推進

「ロータリークラブ・セントラル」「My Rotary」への登録、利活用推進  
ウェブサイトやSNSを活用した公共イメージの向上

### 3. 人道的奉仕活動の継続と推進

ポリオ撲滅、復興支援、国際奉仕活動の継続と推進

### 4. ロータリー財団への理解と協力支援の継続

ロータリー財団に関する情報発信  
直接的・間接的寄付の継続

**第2510地区  
重点課題**

1. クラブ戦略計画への支援

2. 新会員のフォロー支援

3. クラブサポートの強化

## Contents

●ガバナーメッセージ	1
●第44回ロータリー研究会の報告	2
●職業奉仕月間に因んで	3
●ガバナー公式訪問報告	7
●ロータリー、来し方行く末	9
●第5回日台ロータリー親善会議のご案内	11
●2015-2016年度 カレンダー（下半期）／米山記念奨学会について	12
●第14回北海道ローターアクト交流会	13
●赤平ローターアクトクラブ創立40周年	15
●米山寄付・ロータリー財団寄付／台風第18号等大雨災害義援金報告	17
●ポリオプラス委員会より／文庫通信	18
●新会員の紹介／地区カレンダー	19
●出席率・会員数	20



## 新しい年を迎えて

国際ロータリー第2510地区

2015-2016年度ガバナー **嵯峨 義輝** (岩見沢RC)

新年あけましておめでとうございます。皆様にはご健勝で希望に満ちた年を迎えられたこととお喜び申し上げます。

昨年を振り返ってみますと7月から11月にかけて皆様のクラブへの公式訪問。その間に会員増強セミナー、福島キッズキャンプ、地区大会等の地区の事業、行事。また東京での各種会議や他地区の地区大会への参加。12月には東京でのロータリー研究会に引き続きタイへ地区国際奉仕事業の検証ツアーとなかなかハードな日々を過ごしてまいりました。昨年1月にサンディエゴで開催された国際協議会でラビンドラン会長から「皆さんに与えられた時間は一年間しかありません。この一年をロータリーに捧げてください」とのメッセージがあり、同時にビジョンに映し出されていた白紙のカレンダーがロータリーマークで埋め尽くされました。まさにそれを実感する、あつという間の半年間でした。折り返しにあたり今一度、初心に帰って決意を新たにしているところです。

さて前年度まで1月はロータリー理解推進月間でしたが、ロータリーの戦略計画の中で「公共イメージと認知度の向上」が優先項目となっているように、ロータリアン自身が理解を深めることも含めて、日々の行動を通して、年間を通じて常にロータリー理解を推進するという事なのでしょう。そして今年度からは従来の10月から移動しこの1月が職業奉仕月間となりました。このところ国際ロータリー

はロータリー財団とともに重点分野である人道的支援に軸足を置いています。職業奉仕に対するRIの姿勢に対しては、今年度のガバナー月信に連載をお願いしている塚原パストガバナーの「ロータリー、来し方行く末」の中でも大きく取り上げられていますし、職業奉仕委員会福田委員長も随分と悩まれています。更には公式訪問の際にも職業奉仕は死んだのですか、という質問もありました。今年度始まった「ロータリー・グローバル・リワード」や、ここ数年の会員資格、職業分類に関する変更などもあり、特にロータリー歴の長い会員の皆様の中には戸惑いを隠せない方々も多くいらっしゃいます。私はやはりロータリーは職業人の集まりであり倫理を追求し職業奉仕を実現するのがロータリアンの使命だと考えています。特に日本のロータリアンにとって職業奉仕がロータリーの看板という意識は今も昔も変わらないと思っています。今一度「ロータリーの目的」や「四つのテスト」の生い立ちに思いを馳せ、あらためて自らの職業奉仕に向き合う月間にしたいと思います。

今月は30～31日に新会員合宿セミナーを開催します。私も新たな出会いを楽しみにしています。また、武部ガバナーエレクトが17日からの国際協議会に出席され2016-2017年度のスタートへと加速していきます。今年も何かと濃厚な一年になろうかと思いますが引き続きのご協力を宜しくお願い致します。



## 第44回ロータリー研究会の報告

地区研修委員会

研修リーダー **酒 井 正 人** (函館五稜郭RC・PG)

12月3日、4日の2日間ホテルグランパシフィックLE DAIBAに於いて第44回ロータリー研究会が開催されました。

参加者総数は700名を超えており、各地区のガバナー補佐の出席も多数見られました。第2510地区からは嵯峨義輝ガバナーご夫妻をはじめに小林 博PDG、佐藤秀雄PDG、塚原房樹PDG、丸山淳士PDG、矢橋温郎PDG、渡邊恭久PDG、佐々木正丞PDGご夫妻、熊澤隆樹PDG、羽部大仁PDGとご息女、嵯峨Gご夫妻、武部 實GEご夫妻、国立金助GNご夫妻、中川信喜札幌幌南RC会員と私を合わせて19名の登録、参加がありました。

第1日目は09:00に開会され、招集者の杉谷RI理事の点鐘に続き、K.R.Ravindran RI会長、田中作次TRF管理委員長代理の挨拶の後、RI理事会報告、RIの5年間の財務見通し計画、RIロータリー財団近況報告、その後の会長ノミニー指名委員会報告では2017-18年度RI会長として、イアン H.S. ライズリー氏(オーストラリア) が選ばれたとRI会長指名委員会メンバー黒田正宏元RI理事から説明がありました。その後ソウル国際大会の案内、日本財団、米山奨学会、ロータリーの友、ロータリー日本100年史編纂準備委員会、日本のロータリー100周年委員会、日韓親善会議、日台親善会議と続けられ、報告の最後に2016年規定審議会報告がなされました。日本からは各地区合わせて26件の立法案と制定案が出されています。当地区からは代表議員として丸山PDGが補欠議員として渡邊PDGが選任されています。

午後はK.R.Ravindran RI会長による基調講演「世界へのプレゼントになろう」で始まりました。その後2つのセッションがありました。第1セッションは北 清治前RI理事がモデレーターとなり「日本ロータリー100周年に向けて」と題してRC、RRFC、RPICらが東京ロータリークラブが誕生してから100年を迎える2020年に向けての展望を述べました。第2セッションは船木いさ子PDGがモデレーターとなり「未来への架け橋」と題して青少年交換学友のJALパイロット、財団学友で東大の内科医、ローターアクト、インターアクト顧問らによる体験を通しての思いが述べられました。

12月4日(金)、第2日目はプログラム外行事として午前7時からロータリー・リーダーシップ研究会(RLI)の会議があり当地区から熊澤PDG、国立GNと私の3名が出席しました。RLIはロータリーの非公式プログラムではありますが、草の根のリーダーシップ開発プログラムで、質の高いリーダーシップ研修を通して、ロータリークラブを強くすることを使命としています。2日目午前は2つのセッションがありました。1つ目、第3セッションは村上有司RRFCがモデレーターとなり3人のパネリストが「経済と地域社会の発展プロジェクト」「水と衛生プロジェクト」「疾病予防と治療(VTT)」について発表がありました。中でも私には第2790地区直前財団委員長山田修平さんの話した「経済と地域社会の発展プロジェクト」に興味を惹かれました。それはネパールで行われた“ヤギ銀行”です。最初にDDFを利用して希望者にヤギ2頭を貸し付け繁殖させて、3年後に2頭を返済させます。4年後には1頭を利息として返済させるものです。単なる資金援助ではなく、地域に経済効果をもたらし、かつ安定的で継続的に事業ができるというものでした。2つ目の第4セッションは「34地区の実践報告」と題してロータリーフェスティバルやワールド+ふれ愛フェフタについて報告されました。2日目の他のプログラムは「パキスタンにおけるポリオ最新事情報告」、記念講演「世界の中の日本」五百旗頭 真氏(元防衛大学学校校長)など盛りだくさんのプログラムがありました。紙面の都合で詳しく全てをお知らせできません。後日発行されます第44回ロータリー研究会の報告をご覧ください。またこの研究会に興味をお持ちでしたら是非次回の研究会にご参加下さい。



# 職業奉仕月間に因んで 新入会に向けて

地区職業奉仕委員会

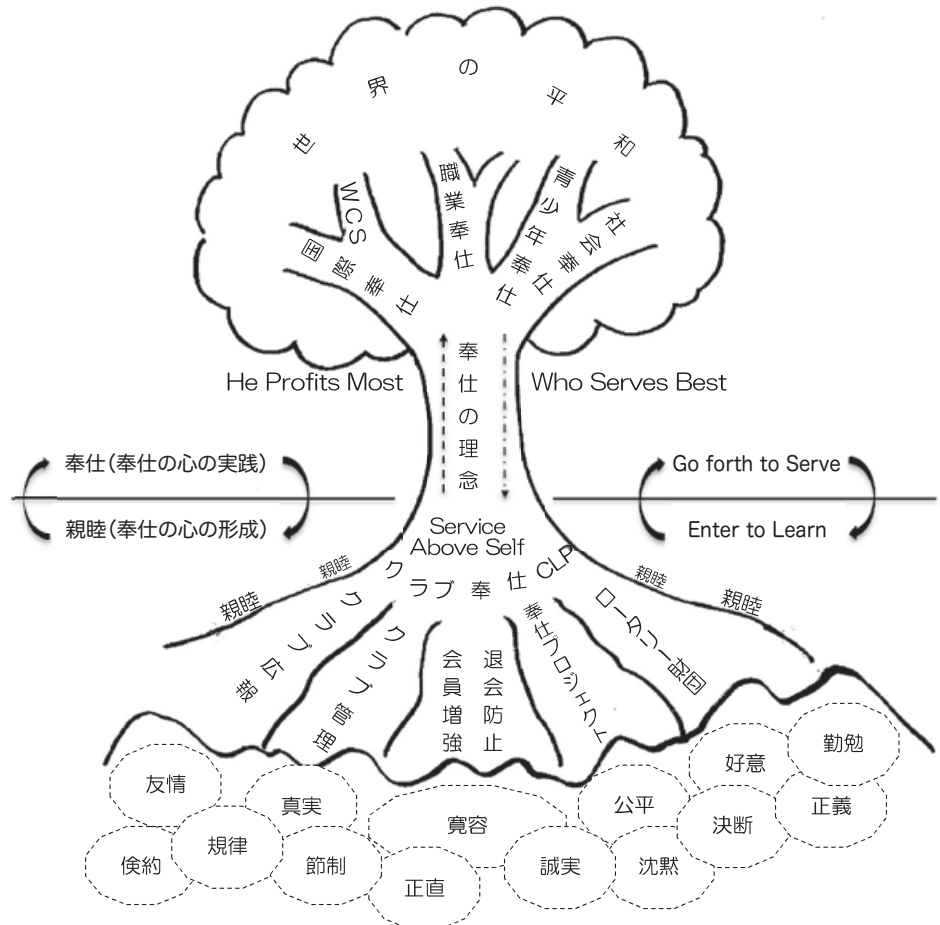
委員長 **福田 武男** (千歳RC)

## 【1月は職業奉仕月間-風前の灯か?】

RI理事会は、ロータリーの重点分野を強調するために、2015年7月からロータリーの特別月間を変更し、毎年1月を「職業奉仕月間」と決めました。職業奉仕月間の歴史を改めて振り返ってみます。最初、1970年、現在のRI第2580地区の神守源一郎PGにより提案され、「職業奉仕週間」として始まりました。それが瞬く間に大阪をはじめ日本中の地区で採用され、1981年、RI理事会は10月15日を含む一週間を「職業奉仕週間」と認め、そして1984年より2014年まで10月が「職業奉仕月間」とされていました。ところが2014年10月のRI理事会で、ロータリーの重点分野を強調するためにロータリーの職業奉仕月間は大きく変更され、根拠もなく1月になったものです。また、1911年1月25日、ポール・ハリスの「合理的ロータリアニズム」の発表のためにチェスリー・ペリーにより創刊された「ザ・ナショナル・ロータリアン」を記念して、1月25日を含む一週間が「雑誌週間」となっておりましたが、1978年に4月へと変わり、そして「雑誌月間」になり、今回の変更でついにこの月間が廃止されたように、職業奉仕月間もとうとう窓際に飛ばされ、風前の灯という状態です。ロータリーの歴史が消されていくようで、淋しさを禁じ得ません。

2016年に入り1月末には初の試みで、地区プログラム「新会員合宿セミナー」が登別市で開催されますが、入会3年以内の新会員が対象です。「人を見て法を説け」と云いますが、その研修に少しでも地区委員会として貢献できるよう、今回は3年以内の会員を対象にロータリーの世界を案内して行きましょう。

### ロータリーの樹



ニューイングランドの古き良き時代を代表する素朴な美德

## 【会員相互の親睦はロータリーの命】

入会して3年位の間は、速やかに他の会員を知り親睦を深めることができるようにというクラブの思いやりで、親睦委員会に配属されることが多いでしょう。入会して最初がとても大切です。先ず、例会には出来るだけ出席して下さい。欠席すればそれだけ自分の将来のさまざまな可能性を自ら放棄することになり、後日後悔することになります。クラブには新会員を担当するスポンサーがいて、必ず新会員のサポートをしてくれるはずですが、他の会員も出来るだけ新会員には声をかけましょう。最初はとにかく例会に行く習慣をつけ、仲間と親しくなることが大切です。配属された委員会が開催される時などは少人数での開催となりますので、親睦を深める絶好のチャンスです。お酒の会にゴルフにと、仲間と一緒に親しく活動することによって友達の輪が徐々に広がっていくでしょう。これをロータリーでは「感性的な親睦」と言っております。もちろん親睦が深まると自然と互いの情報交換をするようになるでしょう。ロータリーに入って良かった点は人それぞれ色々あるでしょうが、「地域の素晴らしい人たちと親しく交流できること、そして正にアップツーデートな業界の情報を互いに交換できること」、これを否定する会員はいないでしょう。新会員が仲間との交流を通じてクラブ・ライフを楽しんでいるだろうか、スポンサーだけでなく先輩ロータリアンを含めて全員がやさしく見守ってあげることが大切です。新会員は学校を卒業したばかりでまだまだ子供のようなもの、しかしながら未来に大きな可能性を秘めた原石でもあるのです。みんなで大切に育てて行くことです。

## 【神様になる時間、子供のころに戻る時間】

ポール・ハリスは、例会は神様になる時間、子供時代に戻るひととき、心のオアシスであると言いました。例会の会場に入る時は、社会的な名誉だとか立場だとか、名声、財産の多寡、企業の大小、職種などの世俗の世界で身に付けたものはすべて脱ぎ捨てて、あたかも子供時代に戻ったかのように裸の人間として例会に出席するのです。このようにロータリーは平等の世界なのです。あなたが里芋だとするなら、例会が桶、ロータリーの規約や活動プログラムというかき回し棒でグリグリと棒を回し例会活動のもとで里芋は奇麗になっていきますが、その棒がロータリアンを奇麗にしているわけではありません。里芋同士の互いのこすれ合いで里芋が奇麗になり、ロータリアンの心が磨かれて行くのです。まるでメダカの学校で、誰が生徒か先生か・・・、互いに師となり徒となって自然と切磋琢磨され、自己研鑽を繰り返していくのです。そして「自己の奉仕の境地」を生涯を通じて高めて行く道を歩み始めるのです。この一連の流れをロータリーでは、「奉仕の心の形成」と言っております。そして不思議なことにこれを「親睦」「精神的な親睦」「純粹親睦」とも言うのです。そして更に、この一連の奉仕の心を形成していくこと全体をロータリーでは「職業奉仕」とも言っているのです。何か頭の中が混乱しますね。ですから、「職業奉仕」とは世のため人のための心を涵養することを云うとも表現できるのです。それからロータリアンになったら常時上着の襟にロータリーバッジを佩用して下さい。特に例会では忘れてはいけません。ロータリーバッジの佩用はあなたが出会う地域の人々に対して、「私はあなたの立場に立って考え・行動し、信用のおける人間ですよ」、と宣言していることになるのです。またロータリーではみんなが平等なのですが、それと同時に「長幼の序」というものをもとても大切にしています。

## 【四つのテスト】

どこのクラブの例会場にも「四つのテスト」が掲示されていることでしょう。そしてクラブによって、その「四つのテスト」をみんなで唱和したり（みんなで声を出して読み上げる）、斉唱したり（みんなでこの歌詞の歌を歌う）しているクラブが多いと思います。意味も解らずに唱えてもだめです。新会員でもいずれ余裕ができたなら、この「四つのテスト」がどのような意味があるのかを理解できるようになりましょう。このテストは、シカゴ

クラブの会員であったハーバート・J・テラーが1931年に、世界大恐慌のあおりを受けて莫大な借金のために倒産の危機に瀕していたクラブアルミニウムという調理器メーカーを、銀行の依頼を受け再建しようとして作ったものです。もしも会社の再建に失敗すれば、250人の従業員が仕事を失うことになります。彼はこの状況から脱出して、会社を再建するためには、道徳的・倫理的な指標がどうしても必要だと考えました。従業員が正しい考え方をもって正しい行動をすれば、会社全体の信用が高まるに違いありません。社員全員が簡単に憶えられて、自分を取り巻くすべての人たちに対して、考えたり、言ったり、行動したりするときに応用できる道徳的な指標が必要であることに気が付いたのです。社長室の机で頭を抱えながら思い浮かんだ24語の言葉を書き留めたのが「四つのテスト」です。職業奉仕

団体であるロータリークラブの全ての会員は、自己の職業を実践するに当たり、自分たちの思考や言行がこの「四つのテスト」に適ったものであるかを日々確認することを求められています。そして同時に、この「四つのテスト」を徐々に暗唱できるようになりましょう。作者であるハーバート・テラーは、「先ず、暗唱できるように」と言っております。しかしこのテストの前段で、原文では“think”とあるのに、邦訳では省略されているところは、問題でしょう。「思いこそ人間の活動で最も大切なもの、やはり「思いと言行は」とすべきでしょう。そして次の問題、第2と第4には“to all concerned”と「関係者に対して」と入っているのに、省略されております。この「to all cocerned」が省略されているのは、日本とフランスのみということですが、これも問題があるでしょう。このテストは倒産寸前の会社を再建するために作られた、極めて現実的な基準なのです。この「四つのテスト」は旧約聖書に出てくる偉大な予言者-エレミアのエレミア書-第9章23~24節が原版であることが、完成して2年ほど経ってから判ることになります。敬虔なクリスチャンであるハーバート・テラーは、このテストは人生のどんな場面にも適用でき効果があり、またいわゆる「黄金律」-『何事でも人々からして欲しいと望むことは、人々にもそのとおりにせよ』という御言葉を過不足なく十分に満たしていると言っておりますが、やはり我々ロータリアンはこのテストを日常生活に適用する前に、先ず自己の職業に適用することから始めていくべきでしょう。日本語で暗唱できるようになったら、原文のままでも暗唱できるようになりましょう。そしてこの「四つのテスト」を純粋に事業に当てはめて邦訳するなら、以下のような意味にもなることを時にはイメージしながら唱和することも、ロータリアンとしてたいへん意義のあることと思います。

思考がどれほどの力のあるものか、誰も知らない  
愛する時も、憎む時も  
思考も一つの生き物で、その目には見えぬ翼で  
伝書鳩より素早く飛ぶ  
思考は宇宙の法則に従い、それぞれの思考に  
相応しい現実を作り出す  
また、思考は道をとって返し、忘れ去った事柄を  
思い起こさせる

『誰も知らない』より・・・

「四つのテスト」の作成者であるハーバート・J・テラーの「我が自叙伝」(菅野多利雄 PG (RID2520) の82ページにあります。

偉大な女流詩人エラ・ウィーラー・ウィルコックは人生で思考力がいかに大切かを次の詩の中で真に見事に言い表している。従って、邦訳で“think”を省略は作成者の意図が伝わらないと思うのです。

## THE 4-WAY TEST (RI2680地区の田中毅PG訳)

Of the things we think, say or do

「思いと言行はこれに照らしてから」

### 1. Is it the TRUTH ?

「その商取引において、商品の品質、納期、契約条件などに嘘偽りがいないか」

## 2. Is it FAIR to all concerned ?

「その商取引に関係する人たちみなに公平か」

## 3. Will it build GOODWILL and BETTER FRIENDSHIPS ?

「信用を高め、取引先を増やすかどうか」

## 4. Will it be BENEFICIAL to all concerned ?

「その商取引に関係する全ての人たちに利益をもたらすか」

## 【ロータリーの目的を理解する】

入会3年過ぎたら、そろそろ「ロータリーの目的」も考えるようになりましょう。どうしてか、例えば「ロータリーとは何ですか」と聞かれれば、この答えは十人十色、さまざまな答えはあるでしょうが、「ロータリーって何をする会なのですか?」と聞かれたら何と答えますか。はっきりと自信を持って答えることが出来なければ会員増強などで友達を紹介することもできません。ところが現実はどうか。殆どの会員が「ロータリーの目的は」と聞かれても簡単・明確に答えることが出来ないのです。何故でしょうか。それは今まで文言がたいへん解り難かったからです。「ロータリーの綱領」は、2013年に「ロータリーの目的」となり、本文の文言も含めて大きく分かり易く改定されました。更に言えば、「enterprise」は「事業」よりも「活動」と訳した方が分かり易いと思います。こうすると、ロータリーの目的は「すべての日常活動の根底に奉仕の心が大切であることを地域に広めること」。そしてこの「奉仕の心」を地域社会に広めようとする運動を『ロータリー運動』と云っているのです。

## 【会員同士の取引き】

会員同士の親睦が深まり信頼関係が出来上がると、どの会員もその地域の優れた職業人なので、互いに取引きするようになるのは当然です。会員同士の商取引では、相手方に対して通常人には与えられていない利便を求めてはならないのですが、相手方から自発的に与えられる利便については、これに甘えてもよいことになっております。では利便を相手に対して要求出来るのでしょうか。これについては、ロータリーでは先んじて相手のことを思いやり先手を打つという原則により、友情を利用関係に転化させる要因を排除しています。すなわち、相手からの利便を要求される前に、ロータリアンは相手を思いやる心でもって、言われる前に利便与えてあげなさいと云うことです。1912年、ロータリアン同士の物質的相互扶助は禁止されました。そして2015年、今年度のラビンドランRI会長は、「ロータリー・グローバル・リワード」という物質的相互扶助を復活させるような新たなプログラムを開始しました。このプログラムが次年度以降も継続されていくのでしょうか。利己的な会員同士の相互扶助だとして世の批判を受けて100年も前に禁止されたこの制度の復活は、「四つのテスト」に反するのではないか、など今後物議を醸すことになるでしょう。我々ロータリーを大切に思うロータリアンのとるべき姿勢は、ここはやはり黙して語らず、嵐の過ぎ去るのを待つしかないのでしょうか。しかし入会間もないみなさんにとって、会員同志の取引きに関してどうすべきか戸惑うこともあるでしょう。しかし地域の素晴らしい人たちが会員であり仲間なのです。仕事を依頼する相手として、第一候補に仲間であるロータリアンが上がることは当然のことです。親睦で培った信頼のもとに、互いに便宜を図り合うことは世の中の道理です。しかし、その便宜を相手に要求してはいけません。要求される前に相手の心を思いやって便宜を与えなさいと、ロータリーは教えているのです。このこと、「友情と商売を混ぜ合わせたこと」がロータリーの職業奉仕の萌芽となったのだと、チェスリー・ペリーは1955年、ロータリー創立50周年のある会議で述べています。



# ガバナー公式訪問報告

紙面の都合ならびに原稿の到着日により掲載が前後する場合がございますのでご了承下さい。

## 札幌西ロータリークラブ

11月17日(火)

11月17日(火)、嵯峨義輝ガバナー、小山ガバナー補佐、山本地区幹事、赤山地区幹事をお迎えして公式訪問

が開催されました。

会長・幹事懇談会では、RIからのグローバルな情報がスムーズに会員に流れていない現状のお話があり、My Rotaryをもっと積極的に利用するよう、又、クラブ内での情報の共有化が必要と示唆に富んだお話をいただき、早速実践していきたいと考えています。

その後、クラブ協議会に移り、各委員長から活動方針、計画の報告と新会員の紹介後、嵯峨ガバナーからご講評をいただきました。当クラブの特徴である音楽会、慰問を含む音楽活動と、乳がん撲滅のためのピンクリボン活動について、他のクラブでは見られないユニークな活動であり、進めていくようにとの激励のお言葉をいただき、出席者全員が更に意を強めたところです。

また、小山ガバナー補佐からもご丁寧なご講評をいただきました。

その後の例会は稀にみる高い出席率でしたが、嵯峨ガバナーのご講話では、ロータリークラブの成り立ちから現ラビンドラン国際ロータリー会長の人となりに及ぶ興味深いお話に、出席者全員が引き込まれ、あつという間に時間が過ぎ短いながらも内容の濃いガバナー公式訪問となりました。既に65クラブを訪問されているとの事ですが、変わらぬ嵯峨ガバナーの熱いエネルギーには敬意を表すると共に、嵯峨ガバナーはじめご同行の皆様には厚く御礼申し上げます。



## 札幌ロータリークラブ

11月18日(水)

冬の足音が近づく11月18日(水) 嵯峨義輝ガバナー、五十嵐閣地区代表幹事、北市宗三地区財務委員長、当

クラブ会員でもある小山司ガバナー補佐を迎え、10時から中山会長、倭幹事を交えての会長・幹事懇談会が開催され、中山会長から当クラブの活動現状、会員増強動向などの報告がありました。嵯峨ガバナーからは、My Rotaryへの積極的に登録推進依頼があり、同時に活用方法、問題点などについて活発な意見交換を行い、1時間の会長・幹事懇談会を終えました。11時から、理事、役員、各委員長参加のもと、クラブアッセンブリーが開催され、中山会長から現状報告の後、クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、青少年担当理事の順番で各委員会の活動計画と進捗報告がなされました。五十嵐代表幹事から、地区の現状報告を頂いた後、嵯峨ガバナーから講評を頂き、更なる会員増強の実践と、札幌RCの職業奉仕委員会担当の「若い人と語るう会」という会員企業の若手社員を集めて、会員講師、外部講師を招いての勉強会や懇親会を開催していることに大変高い評価を頂き、クラブアッセンブリーを終えました。12時30分、点鐘と共に例会が始まり、当クラブが受賞したRI会員増強賞、End Polio Nowの感謝状披露の後、嵯峨ガバナーの講話を頂きました。ガバナーからは「ラビンドランRI会長の人となり、ポリオ撲滅への現状、会員数5%増強へのお願い、4つのテストの実践」など、情熱をこめてお話を頂き、会員一同は熱心に聞き入っておりました。嵯峨ガバナーの温かいお人柄とロータリークラブに対する深い愛情を感じさせていただき、ロータリー愛に満ち溢れた余韻が残る中、例会を終えました。大変過密スケジュールにおいての嵯峨ガバナーの公式訪問に衷心より感謝申し上げます。どうも有り難うございました。



**岩見沢ロータークラブ****11月24日**

11月24日(火) 岩見沢東ロータークラブ例会場であります岩見沢平安閣にて、嵯峨義輝ガバナー、郷和平

第3グループガバナー補佐、五十嵐閣地区代表幹事、北市宗三地区財務委員長、佐々木光治ガバナー補佐代表幹事をお迎えして、ガバナー公式訪問を開催致しました。当日岩見沢は朝から雪が降り、心配していた開始時間も予定通り10時より会長・幹事懇談会が行われました。当クラブから他に会長エレクト、副会長、副幹事が出席し、終始和やかに進む中、上野会長よりクラブの現状、奉仕活動の状況、また問題点等が報告されました。懇談の中で、嵯峨ガバナーより理事役員の選出方法に問題有と指摘を受け、手続要覧を参考に詳しく説明をして頂き、自身の勉強不足を露呈する一幕もありました。

11時からのクラブ協議会では、各委員長より活動報告をさせて頂きました。少人数のクラブではありますが、独自の奉仕活動を活発にしていることにお褒めのお言葉を頂きました。

例会では、クラブ訪問も残すクラブが2クラブとなったせいかな和やかな雰囲気での始まりでした。最初に嵯峨ガバナーから、新会員の入会式で会員にバッジを付けて頂きました。ガバナーから付けて頂き感激を覚えました。またMy Rotaryについてのご説明があり、これからのMy Rotaryの重要性をお話しされ、多数の会員登録を要請されました。

最後に全員で記念写真を撮り、嵯峨ガバナーの心温まるお言葉、温厚なお人柄に触れて楽しく公式訪問の時間を過ごすことが出来ました事に会員一同心より感謝申し上げます。

**栗沢ロータークラブ****11月25日**

11月25日(水) 嵯峨ガバナーが五十嵐地区代表幹事・北市地区財務委員長と共に、午前9時30分頃栗沢クラブを訪問してくださいました。

ほぼ同時刻に江別より郷ガバナー補佐と佐々木ガバナー補佐幹事が到着なさいました。

午前10時より、いわみざわ商工会2階会議室にて当クラブの西村会長、岩田会長エレクト、枝広ガバナー補佐エレクト、西島幹事との懇談になり、西村会長より当クラブの現状報告を致しました。特に重点としては会員の増強強化の報告並びに、上半期の今までの報告として岩見沢RC、岩見沢東RC、栗沢RCの3クラブでの福祉村へのテントの寄贈と地区大会の話などを雑談を交えながら談義会談をいたしました。

午前11時より、会場を空知信用金庫栗沢支店2階へと変えて、クラブ協議会を開催いたしました。各委員長より、年間活動方針と活動計画を報告いたしました。

午後12時10分より、会場をいわみざわ商工会2階へと戻し、クラブ例会へご参加いただき、クラブ会員全員と昼食を共にされ、本日の例会プログラムをガバナー公式訪問卓話として30分間のお話がありました。最後に参加者全員で写真を撮り、このたびの公式訪問を無事に終了いたしました。



# ロータリー、 来し方行く末

連載 第7回

## いま求められる 寛容の精神“Toleration”

国際ロータリー第2510地区

パストガバナー 塚原房樹  
(札幌東RC)



日本は島国の単一民族ですが、アメリカは少数民族の集まりで「人種のるつぼ」(Melting Pot)の国といわれています。人々が同じ目的を目指して溶け合う“Melting”することが必要条件です。ただ最近アメリカでは、多文化主義の台頭で(Melting Pot)よりむしろ混ざるが溶け合わない「サラダボウル」(Salad Bowl)という言葉も生まれて久しくなりました。

しかしアメリカで生まれた国際ロータリーは、自身の目的達成のために、世界の200カ国以上のロータリークラブの多様性を考慮せずに、「アメリカンスタンダードの押し付け」が見られます。

それぞれの国にはそれぞれの文化、宗教、伝統、習慣があります。サラダという料理はサラダボウルの中に、いろいろな野菜が盛り込まれ、混ざり合い、調和しながら作られています。しかし個々の野菜はどんなに他と混ざり合ってもトマトはトマト、レタスはレタスの個性は失いません。RIの組織も同じでRIの目的達成のために溶け合う“Melting”するのではなく、加盟国の文化、個性を活かして、ポール・ハリスが会得した寛容の心を持って大同団結する道を考えていくべきでしょう。

ポールの自序伝『ロータリーへの道』“My Road to Rotary”の序文に次のような言葉があります。『私の七十余年の人生で、大切なものが二つあります。一つは故郷ニューイングランドの谷間、もう一つはロータリー運動です。私がロータリーに身を捧げるようになった源を探っていくと、故郷の谷間、村人の人情、宗教や政治に対する寛容の心にまでさかのぼってゆきます。見方によればロータリーは故郷の谷間で産声を上げたのです』

ポールが「宗教自由の揺籃の地」で村人から学んだ「寛容」こそが、多人種のアメリカでロータリー運動を展開していくための鍵でした。会員の政治や宗教に制約を加えることなど決してしてはならず、皆が互いの信条や意見に対して広く寛容でなければならないと決意していました。もし人間がその仲間をそのありのままの姿で受け入れることができないなら、友愛も親睦もありえないとポールは認識していました。「ロータリー

とは何か」がいつも問われますが、これは簡単に答えられません。ロータリーは理解しやすいと同時に定義しがたいからです。ロータリーは対立する政治哲学、信条の違いが唱える「否定」を潔しとせず、「寛容の心」を以ってこれらを超越することによって、長きにわたって国際理解を妨げてきた障壁のすべてを乗り越える生き方であります。ロータリーはこういうものと対決するのではなくこれらが持つ価値を止揚（アウフヘーベン）します。ロータリーは人間性を高める生き方であります。

ロータリーの寛容はこのように非常に次元の高いものであるにもかかわらず、現実においてはこのことが少しも理解されず、ロータリーの諸会合の時にホストクラブの幹事さんが「一生懸命、この会合の準備をしましたが、どうか至らない点はロータリーの寛容の精神に免じてお許し下さい」などと低次元の親睦概念に振り回されマアマ主義が横行しているのは残念です。文化や価値の違いを尊重しつつ、いかに世界の秩序を形成してゆけば良いのか、いかにして新たな普遍主義や理念を生み出してゆけば良いのでしょうか。

そのためには、これまで消極的な価値とみられてきた「寛容」とか「他者への思いやり」といったものに積極的な価値観を与えていくことであると思います。ハリスは「ロータリアン誌第一号/1910年」の巻頭に「合理的ロータリアニズム」という論文を寄せました。その中でもし自分が広い場所で眼下に大勢のロータリアンを眺めながら、神様から何か一言だけ言えと言われたら躊躇することなくありったけの大声で寛容“Toleration”と叫ぶであろうと語っています。

ハリスのロータリーのバックボーンは生涯を通じて寛容“Toleration”の精神で貫かれていました。そしてこれこそがRIがクラブを管理運営していくための秘訣といえましょう。

日台ロータリー親善会議が下記の通り開催されます。ご出席を希望される方は、地区で纏めてご登録致しますので、ガバナー事務所までご連絡の程宜しくお願い申し上げます。

ご連絡を戴いた方には追って登録申込書等をご送付致します。

**地区へのお申込み期限 2016年2月20日(土)必着**



台湾の仲間を、金沢でお迎えしませんか

## 第5回 日台ロータリー親善会議のご案内

日台ロータリー親善会議総裁 板橋 敏雄

第5回日台ロータリー親善会議実行委員長

第2610地区ガバナー 柳生 好春

日台ロータリー親善会議(台湾では「台日国際扶輪親善會」:法律で認められた法人団体です)の発足は、2007年2月に開催された第2580地区の地区大会で国際ロータリー(RI)会長代理を務められた林士珍パストガバナー(PG)と佐藤千壽PG(故人)、前川昭一PG、小澤秀瑛ガバナー(当時)をはじめとする皆さまの歓談の中で「日韓親善会議があるのになぜ日台親善会議がないのか?」という共通の思いから始まりました。2008年5月に第1回日台ロータリー親善会議が東京で開催されて以来、第2回は台中・日月潭、第3回は京都、第4回は台北と回を重ねてきました。

皆さまもご存じの通り、日本と台湾は政治的には国交がないなどの課題はありますが、経済・文化をはじめ、お互いにさまざまな分野での交流を深めています。特筆すべきは、東日本大震災と福島原発事故に際して多額の義援金をいただいたことであることは言うまでもありません。国を超えた人間同士の温かい絆が存在することに他ならな

いものと確信しております。もちろんロータリーにおいても日台間で姉妹クラブや友好クラブを締結している例もたくさんあります。

ところで、なぜ金沢での開催となったのでしょうか?実はここにも一つの物語があります。日本統治時代の1930(昭和5)年、インフラの整備がまだ整っていない時代、台湾南部の嘉南平野にかんたいたしゅう(烏山頭ダム)が建設され、多大な恵みをもたらしました。このダムの建設を担ったのが、金沢出身の技師、八田與一氏です。氏の偉業は毎年命日に烏山頭ダムで慰霊祭が行われるばかりでなく、台湾の教科書にも紹介されています。さらに氏は当時まだ日本でもロータリークラブ(RC)の数が少ない中、台北RCの会員でもありました。

このように、さまざまなご縁をいただき、第5回日台ロータリー親善会議を来る6月5日に金沢で開催いたします。ソウル国際大会の直後とはなりますが、多数のご参加をお待ち申し上げます。

開催日 2016年6月5日 13:00~

会場

- ・会議・式典 石川県立音楽堂コンサートホール
- ・懇親会 ホテル日航金沢(いずれもJR金沢駅前)

登録料 2万円

登録締切 2016年2月29日

※詳細は、各地区ガバナー事務所にご案内いたします。クラブを通し、各地区のガバナー事務所にお申し込みください。

プログラム

13:00~14:00 登録受付

14:00~15:20 会議、あいさつ、活動報告

15:40~17:10 記念講演 田中次次元RI会長  
黄其光直前RI会長

18:00~20:00 懇親会

お問い合わせは

第5回日台ロータリー親善会議実行委員長 柳生好春

第2610地区ガバナー事務所

Tel. 076-245-5575 Fax. 076-245-5576

E-mail yagyuu15-16@rotary2610.jp

ロータリーの友12月号より

## 2015-2016年度 カレンダー（下半期）

年 月	ロータリー月間 強調事項	日(曜日)	地 区 の 行 事	日(曜日)	国内行事・国際行事	グループ内の行事 I M、 クラブ周年行事
2015 年 （ 平 成 28 年 ） 7 月 9 日	職業奉仕月間	10日  30(土) 30日-31日	各クラブ、クラブ請求書受理後、人頭分担金送金 2016学年度米山奨学生選考試験（札幌）  2015-16年度ガバナー補佐会議（登別） 2015-16年度新会員合宿セミナー（登別）	17日~23日	国際協議会（米国・サンディエゴ）	
	平和と紛争予防/紛争解決月間 ロータリー創立記念日、 世界理解と平和の日 (2/23)	13(土) 20(土)	財団学友会総会（札幌） 2016-17年度ガバナー補佐研修セミナー（札幌） 2016-17年度地区チーム研修セミナー（札幌）	6(土)		第8グループIM予定（えりも） 第9グループIM予定（伊達）
	水と衛生月間 世界ローターアクト週間 (3/13を含む1週間) 世界ローターアクトの日 (3/13)	5(土)~6(日)	2016-17年度会長エレクト研修セミナー予定（札幌） 2016年3月終了米山奨学生歓送会  青少年交換学生春季スキーキャンプ予定	19(土)  27(日)		第4-5グループ合同IM予定（札幌） 第6グループIM予定（小樽）
	母子の健康月間	10(日)	2016-17年度地区研修・協議会予定（札幌）	2(土) 9(土) 11月~15(金) 22(土)~23(土) 24(日)	2016年規定審議会予定（米国・シカゴ） 韓国第3700地区大会（大邱）	第7グループIM予定（千歳） 第2グループIM予定（滝川）  留萌RC55周年予定（留萌）
	青少年奉仕月間 R I 国際大会	15(日)	地区RYLAセミナー（岩見沢） 北海道米山学友会家族懇親会予定	14(土) 22(日) 28(土)~6(日)	国際大会（韓国・ソウル）	札幌北RC45周年予定 第12グループIM予定（苫小牧） 第1グループIM予定（留萌）
	ロータリー親睦活動月間	12(日)	現新地区委員長・ガバナー補佐合同引継ぎ会議予定 インターアクト年次大会 ローターアクト年次大会 2015-16年度終了	5(日)	第5回日台ロータリー親善会議（金沢）	札幌南RC60周年記念式典予定（札幌）
			2015-16年度残務整理			

※2015-2016年度より特別月間が変更

## 米山記念奨学会について

地区米山記念奨学委員会

委員 森谷明弘（札幌西RC）

（公財）ロータリー米山記念奨学会は、勉学、研究を志して日本に在留している外国人留学生に対し、日本全国のロータリアン（ロータリークラブ会員）の寄付金を財源として、奨学金を支給し支援する民間の奨学団体です。

年間の奨学生採用数は720人（枠）、事業費は12.4億円（2013-14年度決算）と、国内では民間最大の国際奨学事業となっています。これまでに支援してきた奨学生数は、累計で18,648人（2015年7月現在）。その出身国は、世界123の国と地域に及びます。

米山奨学金には、奨学金による経済的な支援だけでなく、ロータリークラブ独自の世話クラブとカウンセラー制度による心の通った支援が行われています。

引き続き、米山記念奨学会への変わらぬご支援をお願い致します。

# 第14回北海道ローターアクト交流会

地区ローターアクト委員会

委員長 **石山嘉治** (森RC)

立冬に当たる11月7日、8日の2日間にわたり、プレミアムホテル-TSUBAKI-札幌をメイン会場として第14回北海道ローターアクト交流会が開催されました。

この交流会は北海道で活躍するローターアクトクラブが地区の垣根を超え友好と交流の絆を深めることを目的として2000年(平成12年10月21日)に両地区ガバナー立会いのもと「友好調印式」が執り行われております。

その後2002年(平成14年)第1回北海道交流会が第2500地区釧路で開催され以後相互の地区で友好の絆を深めております。

盟約期間が3年間となっており今年は第4期盟約期間の3年目にあたり、午前11時より両地区ローターアクト代表者会議を開き、互いの活動報告発表に引き続き、盟約更新について協議し継続することとなりました。

またこの日に先立ち、10月3日群馬県高崎市で行われた第16回アジア第1ゾーン代表者会議に石川地区代表、三浦地区代表ノミニーとともに出席し、第17回ホスト選出議案が承認され、第1ブロック(2500・2510地区)開催にあたりホスト地区を第2510地区とすることが了承されました。

午後1時、石川地区代表点鐘の後、両地区参加者の紹介があり来賓として羽部パストガバナーのご臨席と祝辞を頂き、2500・2510地区のアクトメンバー、アクトOB、ロータリアンに加え、一都、一府、四県のアクターも集い110名を超える盛大な開会式となりました。

開会式終了後、1日目の交流プログラムは「Act Quest」と題しクイズラリーが行われ、地下鉄ドニチカ切符(1日乗車券)を利用し札幌名所を巡るチーム対抗戦で各地区メンバーとの熱い交流が図られました。ホテルでの懇親会では表彰式、ゲームと垣根を超えた交流で大いに盛り上がり楽しい時間を過ごせたのではと思います。

2日目のスポーツ交流会は場所を郊外の「ARIAKE BASE」に移動し小雨の降る肌寒い天候も、ものともせずチーム対抗戦でサバイバルゲームが行われました。

2日間の交流を通じて若さ溢れる行動力、チーム戦で見せた団結力が大いに発揮され、友情の輪が大きく膨らんだようです。

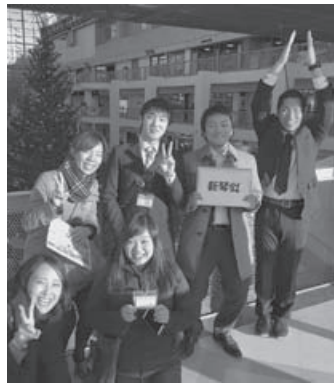
1日目の交流プログラムは、札幌市中心部の名所や観光スポットを巡ることで、都市空間を堪能し、2日目は市内中心部から離れ大自然の中で大いに盛り上がるのが出来たプログラム構成でした。1日目、2日目はチームの構成を変えより多くの人と一体感ができるよう考慮されていて自然に親しくなる演出がされていました。

北海道ローターアクト交流会を開催するにあたり、今年1月より企画運営会議を開始し石川 樹地区代表、ホストを務めました札幌南ローターアクトクラブ三浦幸恵会長、蔡 爽実行委員長を中心に、緻密な計画

に基づく発想力、企画力をもって準備され、交流会当日は地区役員、札幌幌南ローターアクトクラブメンバー一同が一丸となってスムーズな運営がなされこれも、常日頃から奉仕活動を通じて培ってきたものであると思います。

今回の交流会が参加者の琴線に触れたことにより今後開催される交流会ではさらに多くのアクトが集うことを期待しております。

結びにホストを務めた札幌幌南ローターアクトクラブメンバーの労苦に対し感謝すると共に、提唱クラブであります札幌幌南ロータリークラブに厚く御礼申し上げます。





# 赤平ローターアクトクラブ創立40周年

創立40周年記念式典

実行委員長 山下彩夏 (赤平RAC)

平成27年10月31日(土)、赤平市にて「糸〜紡いだ軌跡 繋ぐ未来へ〜」というテーマのもと、「赤平ローターアクトクラブ創立40周年記念式典」を開催いたしました。

昭和51年5月20日に赤平ローターアクトクラブが創立されました。これまで諸先輩方が築き上げてきたたくさんの伝統や経験、私たちが今こうして活動できるのは、提唱ロータークラブである赤平ロータークラブの皆さまをはじめ、地域の皆さまのお力添え…このようなものが「糸」のように紡いできたからこそ、今の赤平ローターアクトクラブがあります。その「糸」を切ることなく、私たちの経験なども紡いで、私たちの手で次世代につないでいきたい…そんな思いをテーマに込め、1年前から準備を進めてまいりました。

式典では、まず、これまでの歩みや記念事業について、スライドショーでご紹介いたしました。

記念事業については、何度も何度も話し合いを重ね、「諸先輩方が紡いできてくれた40年を、次世代へ繋いでいきたい」という強い思いから、赤平市の未来を担う子どもたちへ「世界に一つだけのもの」を贈ることにしました。今回、文京保育所へトランポリン、若葉保育所へとび箱、赤平幼稚園へテーブルとベンチを贈呈しました。これらは市内の企業の方々のご協力をいただきながら、子どもたちが描いた絵などもプリントしたりと、手作りで製作しました。

また、お世話になっている赤平の方々のために、自分たちの手で何かしようと考え、これまで様々な活動を共にしてきた障がい者の就労支援施設・工房赤平虹の架け橋の皆様に感謝の気持ちを込めて、弱くなっていた国道沿いの看板を建て替えることにしました。建て替え前の看板は、35周年記念事業で寄贈したもので、当時の先輩方の思いを受け継ぎたい…そして皆の手で作ったこの看板がいつまでも使い続けられてほしい…そんな思いもあり、今回の製作に至りました。

続いて、記念プログラムでは、赤平市の産業の中心として、その歴史を築いてきた「旧住友赤平炭鉱立坑」内を見学していただき、赤平市の歴史の一端に触れていただくことができたのではないかと感じています。

祝賀会や二次会では、赤平市の名物「がんがん鍋」も堪能していただきながら、余興やカラオケなど、楽しんでいただけたのではないかと思います。こうして、おかげさまで無事に式典を終了することができました。

今回、準備を始めてから当日まで感じたことは、やはり私たちは皆さまに支えられて活動ができているということです。今回の式典では、OB・OGの皆さまやロータリアンの皆さまにもたくさんのご指導やアドバイスをいただき、当日も多くのご出席をいただきました。

また、地域の皆さまにも私たちの活動にご理解いただき、式典を開催するにあたり、お忙しい中多大なご協力をいただきました。

準備期間を含め、この1年間は、当クラブの歴史の中では「たった1年」かもしれませんが、たくさんの「糸」が紡ぎ合い、そして式典を迎えることができたと思っています。私たちも、ここに至るまでは何度もぶつかつ

たり、辛いことや苦しいこともありました。しかし、それらも全て「糸」として紡いできたからこそ今日があると感じます。

今後も、皆さまからの温かいご指導、ご支援、ご協力を賜りながら、ローターアクトのために、そして地域のためにできることを模索しながら、「親睦」と「奉仕」の心を忘れず、当クラブの歴史をさらに作り、「糸」として未来へ繋いでいけるよう、日々精進して頑張っていきたいと考えています。

最後になりますが、本式典にご協力いただきました皆さま、お忙しい中ご臨席賜りました皆さまに厚く感謝申し上げます。ありがとうございました。今後も何かとお力添えを賜りますようよろしくお願い申し上げます。



## 米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

## 米山功労者メジャードナー

札幌西北RC 三上 直彦 会員(12回) 11月20日

## 米山功労者

留萌RC	高田 潔	会員(4回)	11月16日	室蘭北RC	松島 茂	会員(1回)	11月30日
留萌RC	鈴木 康伸	会員(2回)	11月26日	室蘭北RC	松田 博文	会員(2回)	11月30日
砂川RC	内野 司	会員(3回)	11月6日	登別RC	高岸 満則	会員(2回)	11月27日
砂川RC	山下 眞史	会員(4回)	11月6日	函館RC	竹田 公一	会員(2回)	11月12日
札幌RC	櫻井 政経	会員(1回)	11月27日	函館RC	国立 金助	会員(6回)	11月12日
札幌RC	先本 建夫	会員(1回)	11月27日	函館五稜郭RC	林 真彦	会員(2回)	11月13日
札幌西RC	武田ミヤ子	会員(2回)	11月13日	函館五稜郭RC	石尾 清広	会員(5回)	11月13日
浦河RC	梅田 和義	会員(1回)	11月18日				

## 米山功労クラブ

函館五稜郭RC 23回 11月13日

## ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

## メジャードナー

留萌RC 高田 潔 会員(レベルI) 11月13日

## マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

深川RC	北村 幸雄	会員(1回)	11月27日	札幌RC	櫻井 政経	会員(2回)	11月27日
留萌RC	西谷 英樹	会員(1回)	11月13日	札幌RC	久保田俊昭	会員(4回)	11月27日
留萌RC	中川 勝美	会員(2回)	11月13日	札幌モーニングRC	佐藤 亮蔵	会員(3回)	11月18日
砂川RC	山崎 義彦	会員(1回)	11月6日	札幌西北RC	三上 直彦	会員(7回)	11月20日
美唄RC	伊原 潤司	会員(2回)	11月30日	函館RC	若山 直	会員(2回)	11月20日
札幌RC	栗林 昌弘	会員(1回)	11月27日	函館セントラルRC	浅野 翼	会員(3回)	11月10日

## ポール・ハリス・フェロー

砂川RC	永森 直弘	会員	11月6日	札幌西RC	矢吹 徹雄	会員	11月13日
札幌RC	先本 建夫	会員	11月27日	札幌南RC	川崎毅一郎	会員	11月24日
札幌西RC	雨貝 尚子	会員	11月13日	千歳セントラルRC	佐々木俊哉	会員	11月6日

## 『台風第18号等大雨災害義援金』報告

～皆様のご協力に感謝申し上げます。誠にありがとうございました～

地区内各クラブに募金をお願いを致しました9月に発生しました『台風第18号等の災害』に対する義援金について、既に他の団体に義援金をお振込みされたクラブもございましたが、下記の58クラブから総額1,740,000円を頂戴致しました。

11月24日に宮城県を管轄する第2520地区に52万円、茨城県を管轄する第2820地区に35万円をお振込みし、被災された会員が多かった栃木県を管轄する第2550地区に12月9日、87万円をお振込み致しましたのでご報告申し上げます。

ありがとうございました。

深川RC、羽幌RC、妹背牛RC、留萌RC、芦別RC、砂川RC、滝川RC、美唄RC、江別RC、江別西RC、岩見沢RC、岩見沢東RC、栗沢RC、栗山RC、当別RC、札幌RC、札幌はまなすRC、札幌北RC、札幌モーニングRC、札幌西RC、札幌西北RC、札幌手稲RC、札幌東RC、札幌清田RC、札幌幌南RC、札幌真駒内RC、札幌南RC、新札幌RC、岩内RC、倶知安RC、小樽RC、蘭越RC、余市RC、千歳RC、千歳セントラルRC、恵庭RC、長沼RC、由仁RC、三石RC、静内RC、伊達RC、室蘭RC、室蘭東RC、室蘭北RC、洞爺湖RC、函館RC、函館亀田RC、森RC、七飯RC、長万部RC、函館セントラルRC、江差RC、函館五稜郭RC、函館東RC、白老RC、苫小牧RC、苫小牧東RC、苫小牧北RC

## ポリオプラス 委員会より

野生型ポリオは昨年より確実に減ってきています。しかし今撲滅の手を休めると又増えてくる事になります。今期の募金目標額は会員1人30ドルとなっておりますが、金額は基よりお願いしたい事は地域の皆様へポリオ撲滅の意義と募金を行うキャンペーン活動です。是非昨年同様各クラブの皆様には地域に対するポリオ撲滅のキャンペーンを計画をお願い申し上げます。

END  
POLIO  
NOW

### 野生型ポリオ症例数

2015年12月18日現在

ポリオ	国	2015年12月15日	2014年同時期	2014年度合計	麻疹が発生した最後の年月日
常在国	パキスタン	49	282	306	2015年11月3日
	アフガニスタン	17	25	28	2015年11月21日
常在国 以外	ナイジェリア	0	6	6	2014年7月24日
	ソマリア	0	5	5	2014年8月11日
	赤道ギニア	0	5	5	2014年5月3日
	イラク	0	2	2	2014年4月7日
	カメルーン	0	5	5	2014年7月9日
	シリア・アラブ共和国	0	1	1	2014年1月21日
	エチオピア	0	1	1	2014年1月5日
世界合計		66	332	359	

#### 【ロータリーはポリオ撲滅コンサートで30万ドルを集めました。】

11月1日、国際ロータリーは世界ポリオ撲滅活動を支援する目的で、スイスルツェルンの有名なKKL（カルチャー&コンベンションセンター）においてコンサートを開催し30万ドルの資金を集めました。イベントは世界的に著名な指揮者ジョヴァンニ・アントニーがスイスのバーゼル室内管弦楽団を指揮し、南アフリカのクラシックピアニストのクリスチャンの特別出演で開催されました。

このイベントには、国際ロータリーのK.R.ラビンドラン会長やポリオプラス委員長、GPEIのインシヤブデレクターを含む、世界中の政治やビジネス、地域のリーダーなど著名人が1400人以上参加し素晴らしい音楽を楽しみました。このコンサートは真にポリオのない世界を目指し、働き続けているすべての従事者に“感謝の意”を表しています。

#### 【2510地区のポリオ寄付現況と世界ポリオ常在国】

2015～2016年度10月末ポリオプラス2510地区寄付実績は、3242ドル（389,000円）対前年比10.85%と激減しています。既に募金活動を通しポリオプラス寄付金の準備できているクラブは、速やかに基金への送金をお願い致します。

ナイジェリアは野生ポリオ常在国は外れ、アフリカ大陸は1年間ポリオフリーとなり、現在ポリオが残っているのは、アフガニスタンとパキスタン2ヶ国となり、発生数も激減して来ています。

ポリオ撲滅は目の前まで来ていますが、しかし高レベルの予防接種活動の手を緩めることは出来ません。今までの言葉に尽くせない撲滅への努力を無駄にしない為に頑張りましょう。END POLIOまでもう少しです。

ポリオプラス委員会では2510地区のホームページに地区内ロータリークラブで行われたポリオ啓発キャンペーン活動の模様や最新の世界ポリオ発症状況を載せておりますのでご覧下さい。併せて皆様のクラブからのポリオ啓発キャンペーン活動の写真等をお待ちしております。（地区ホームページのポリオプラス委員会へのメッセージボタンよりお送り下さい）

## 文庫通信



(339号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

### 地区大会講演から

【下記申込先：ロータリー文庫】

「地球上で一番幸せの国、ブータンとは」 ベマ・ギャルポ 2015 14p (D.2530地区大会記念誌)

「生き甲斐はどこにあるのか」 養老孟司 2015 11p (D.2670地区大会記録)

「明日を信じて～震災を乗り越えて20年～」 芹田健太郎 2015 5p (D.2680地区大会記録誌)

「現代に生きる戦国武将の知恵」 松平定知 2015 8p (D.2650地区大会記念誌)

「ロータリー平和センターとウクライナ平和活動の経験」 アンナ・スラヴィンスカヤ 2015 3p (D.2680地区大会記録誌)

「ロータリーに想う」 千 玄室 2015 6p (D.2650地区大会記念誌)

「国際ロータリーの現状と私たちロータリー」 黒田正宏 2015 6p (D.2680地区大会記録誌)

「ロータリーを語る」 中村靖治 2015 7p (D.2650地区大会記念誌)

「ロータリーの日常の知識」 三木 明 2015 7p (D.2820地区大会記録)

## ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階

TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館/午前10時～午後5時 休館/土・日・祝祭日

# 新会員の紹介

(敬称略)



留萌RC  
**武田 佳彦**  
8月5日入会  
損害保険業



留萌RC  
**森 将由生**  
8月5日入会  
飲食業



留萌RC  
**竹田 聡**  
10月1日入会  
電気事業



岩見沢東RC  
**松野 純一**  
11月24日入会  
損害保険業



苫小牧北RC  
**南澤 陽**  
12月8日入会  
室内設計及装飾

## 地区カレンダー (1月・2月)

1月 職業奉仕月間	
1 (金)	元日
2 (土)	
3 (日)	
4 (月)	
5 (火)	
6 (水)	
7 (木)	
8 (金)	
9 (土)	
10 (日)	2016学年度米山奨学生選考試験 (札幌)
11 (月)	成人の日
12 (火)	
13 (水)	
14 (木)	
15 (金)	
16 (土)	
17 (日)	～23 (土) 国際協議会(米国・サンディエゴ)
18 (月)	
19 (火)	
20 (水)	
21 (木)	
22 (金)	
23 (土)	
24 (日)	
25 (月)	
26 (火)	
27 (水)	
28 (木)	
29 (金)	
30 (土)	～31 (日) 新会員合宿セミナー (登別) 地区ガバナー補佐会議 (登別)
31 (日)	

2月 平和と紛争予防/紛争解決月間	
1 (月)	
2 (火)	
3 (水)	
4 (木)	
5 (金)	
6 (土)	第9グループIM (伊達)
7 (日)	
8 (月)	
9 (火)	
10 (水)	
11 (木)	建国記念の日
12 (金)	
13 (土)	財団学友総会 (札幌)
14 (日)	
15 (月)	
16 (火)	
17 (水)	
18 (木)	
19 (金)	
20 (土)	2016-17地区ガバナー補佐研修セミナー / 地区チーム研修セミナー (札幌)
21 (日)	
22 (月)	
23 (火)	
24 (水)	
25 (木)	
26 (金)	
27 (土)	
28 (日)	
29 (月)	

2016年1月のロータリーレート 1ドル 120円

# 出席率・会員数

グループ	クラブ名	例会数	会 員 数				出席率
			2015.7.1	2015.11.30	増 減	内女性	
1	深 川	3	34	36	2	3	80.37
	羽 幌	4	43	46	3	2	75.54
	妹背牛	4	11	11	0	0	81.81
	留 萌	4	38	41	3	3	74.03
	小 計		126	134	8	8	77.94
2	赤 平	3	26	26	0	0	79.50
	芦 別	4	37	37	0	2	89.98
	砂 川	4	37	39	2	0	92.31
	滝 川	4	78	83	5	4	70.00
	小 計		178	185	7	6	82.95
3	美 唄	4	32	32	0	0	81.65
	江 別	4	31	32	1	1	89.07
	江別西	3	26	25	-1	3	90.70
	岩見沢	4	73	76	3	0	92.89
	岩見沢東	2	22	23	1	3	90.70
	栗 沢	4	22	22	0	1	97.80
	栗 山	4	22	27	5	5	96.30
	当 別	3	27	28	1	1	79.17
	小 計		255	265	10	14	89.79
4	札 幌	4	117	129	12	2	98.36
	札幌はまなす	3	16	16	0	2	89.59
	札 幌 北	4	34	38	4	3	91.89
	札幌モーニング	4	39	39	0	0	75.08
	札 幌 西	3	51	51	0	8	83.55
	札幌西北	4	32	32	0	3	86.50
	札幌手稲	4	37	39	2	4	85.63
	小 計		326	344	18	22	87.23
5	札 幌 東	3	122	126	4	0	95.19
	札幌清田	3	16	16	0	4	100.00
	札幌幌南	4	70	71	1	14	100.00
	札幌真駒内	4	24	23	-1	4	100.00
	札 幌 南	3	79	80	1	0	98.75
	札幌大通公園	3	13	13	0	1	51.28
	新 札 幌	4	24	24	0	3	87.80
小 計		348	353	5	26	90.43	
6	岩 内	4	19	21	2	1	68.68
	倶知安	4	39	40	1	5	73.10
	小 樽	3	74	76	2	2	81.86
	小樽南	4	73	75	2	3	85.28
	小樽銭函	3	19	19	0	1	78.00
	蘭 越	4	10	10	0	0	100.00
	余 市	4	48	48	0	5	86.00
	小 計		282	289	7	17	81.85

11月出席率・ 会員増減数	クラブ数	70クラブ
	期首会員数	2,526人
	当月末会員数(女性)	2,620人(140人)
	増加会員数	94人
	当月平均出席率	83.36%

グループ	クラブ名	例会数	会 員 数				出席率
			2015.7.1	2015.11.30	増 減	内女性	
7	千 歳	4	54	57	3	4	89.25
	千歳セントラル	3	38	39	1	4	79.48
	恵 庭	4	46	49	3	2	85.49
	北 広 島	3	17	18	1	1	89.58
	長 沼	4	19	19	0	3	69.85
	由 仁	4	8	9	1	0	72.22
小 計		182	191	9	14	80.98	
8	えりも	4	18	19	1	1	98.68
	三 石	4	13	13	0	1	80.67
	様 似	4	21	21	0	1	68.25
	静 内	4	64	68	4	1	90.00
	浦 河	3	22	24	2	0	100.00
	小 計		138	145	7	4	87.52
9	伊 達	3	55	58	3	0	86.93
	室 蘭	4	30	36	6	0	72.88
	室蘭東	4	34	35	1	0	84.30
	室蘭北	3	40	39	-1	3	68.40
	登 別	4	32	32	0	1	84.38
	洞 爺 湖	3	9	9	0	0	81.40
小 計		200	209	9	4	79.72	
10	函 館	4	82	87	5	1	75.74
	函館亀田	4	41	42	1	4	89.38
	森	4	33	35	2	0	91.40
	七 飯	3	17	17	0	0	66.70
	長万部	4	8	8	0	0	71.90
	函館セントラル	3	22	22	0	2	76.55
小 計		203	211	8	7	78.61	
11	江 差	4	12	12	0	1	60.00
	函館五稜郭	4	51	51	0	0	85.59
	函 館 東	3	47	48	1	5	76.81
	函 館 北	4	21	21	0	0	96.25
	北 斗	4	13	14	1	0	53.50
	松 前	2	4	4	0	0	75.00
小 計		148	150	2	6	74.53	
12	白 老	4	33	33	0	2	74.20
	苫小牧	4	51	54	3	2	87.54
	苫小牧東	4	27	28	1	6	85.71
	苫小牧北	3	29	29	0	2	88.75
	小 計		140	144	4	12	84.05
合 計		2,526	2,620	94	140	83.36	

※札幌幌南RCには札幌幌南ライラックロータリー衛星クラブの会員数14名(内女性会員9名)を含む

## 第2グループの現状

中空知に位置する、第2グループの人口は昭和35年前後の22万人が、本年7月末で8.5万人となり、ピーク時の61.3%となり、各クラブの会員の減少にも歯止めがかからない状況ですが、各クラブとも英知を駆使し、地区目標を達成すべき、会員増強に最大の努力をしており、小さくてもキラッと輝るクラブを目指して、会長・幹事を先頭に積極的にロータリー活動をしている事を、クラブ訪問をし、理解することが出来ました。今後とも各クラブと連携してまいります。



## 表紙の解説

### ■ 第13回たきかわ紙袋 ランターンフェスティバル

平成27年2月28日(土) PM5:00~8:00  
滝川市 駅前商店街他

平成15年から、13回目を迎えた「たきかわ紙袋ランターンフェスティバル」は、滝川市の冬の風物詩として大きなイベントとなり、多くの市民の参加で毎年賑わっています。

今年は、絵本作家 そらさんが参加され、また、国際短編映画祭出品作の「シャッター×シャッター」の最終撮影も無事終了し、完成も間近となり期待をしております。

当日は、参加各団体、個人の皆様が作られた紙袋ランターンの総数が14,600個、来場者数14,000人、準備からのボランティアが430名となり過去最高の数字となり、厳寒の街をランターンの光で幻想的な演出で、来場者がホッと暖かくなれる素敵な一夜を作り上げる事が出来ました。